



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121  
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3022回 例会2024.3.14 No.1682



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE  
In the WORLD**ソング** 君が代 奉仕の理想**会長談話** 山田 益会長

卓球について

1月27日に開催されました合同練習会の記事が写真入りで、長野日報の2月1日に記事となって取り上げられました。当日は東京の卓球場やスクールを運営されている講師の川口さんと濱川さんの指導で、基礎的な練習や高度な技術を学ぶことが出来て大変良かったと、参加した小中学生が話してくれたと報告されていました。主催した上伊那卓球連盟としては大変良い練習会となって良かったと話してくれました。次年度令和6年度も2025年2月に開催予定と聞きました。ただ大変残念なのがこの記事の中に、この練習会を共催しRC地区青少年育成基金:プロジェクト助成金の補助があったと言も出ていませんでしたので後日、長野日報に行き取材記者に話を聞いたところ、当日取材したら「RCの名前は出さないように」と言われたようです。誠に残念な話でした。

卓球の歴史あれこれ

1956年(昭和31年)4月2日~11日に第23回、世界卓球選手権大会が東京代々木の「東京体育館」で開催された。この大会期間中は連日、大変大勢のファンが入場しまして卓球ブームが起きました。当時の卓球競技人口は50万人と言われていましたが、この時から300万人にともいわれました。その原因は「荻村伊智朗・田中利明」の二大スターが健在で期待通りの活躍をして、男子団体3連覇、男子シングルはこの両者が決勝を戦ったことです。

更にこの大会では、7種目すべてに入賞して4種目優勝。そして奇跡的な勝利があった事です。一つは田中利明選手がルーマニアのガントナール選手に最終セットでカウント14-20のマッチポイントから8本連続のスマッシュを決めて逆転し、日本男子団体の3連覇に貢献しました。また女子シングルでは、この大会まで世界大会6連



覇中のルーマニアのロゼアヌ選手に、2回戦で日本の32歳、全日本ランキング8位の田坂清子選手が、スコア21-19, 22-20, 32-30で勝利したことです。この時の体育館内は大興奮で、大観衆は総立ち、場内の10数台の選手、審判員も試合を中断して注目した。尚この大会の開会式では、日本商工会議所:足立正会頭(日本卓球協会会長)が英語で開会式挨拶されたことや、皇太子殿下が来場されたことなどが、この大会を盛り上げました。ピンポン外交とは

1971年(昭和46年)3月28日~4月7日に名古屋市で第31回、世界卓球選手権大会が開催されました。この大会には、6年振りに中華人民共和国(中国)が出場して、大会終了後に中国がアメリカ合衆国など欧米の卓球選手を中国に招待したことをきっかけに、米中間を中心とした外交を言います。

しかしこの事は事前の交渉が有りました。それは当時愛知工業大学の後藤こうじ学長が当時二つの中国問題が有ったのですが、香港を経由して中国に渡り交渉を行ったのです。そして一時は難航したのですが、周恩来氏が後藤学長の立場を理解して一つの中国となりました。そして4月10日、中国共産党による中国大陸制圧後初めて米国人が中国を公式訪問し、その後ヘンリー・キンシジャーが内密に中国を訪問しました。

1972年2月には、リチャード・ニクソン大統領が中国を訪問した際には、人民大会堂で開かれたパーティーでは、中国卓球選手:荘則棟選手が周恩来首相からニクソン大統領に紹介されました。ピンポン外交により中国とアメリカが国交を結ぶまでに、中国と国交を持っていたのはわずか32カ国であったが、その後1年の間に100カ国以上が中国と国交を結びました。

伊那北高校卓球部OB会有志で

伊那北高校卓球部練習場の2024年2月までの現在の卓球台があまりにも痛みがひどいので、卓球台をOB有志で3月15日贈呈しました。しっかり練習して強くなることを願っています。

## 誕生祝

小林旬子・登内豊明・倉沢範行

## 結婚記念日祝

平出吉範・原田和愛・本郷一博  
矢島 豪・唐澤幸利・城取健太

## 在籍祝

小林孝行(31)岩附 宏(14)  
唐木 章(14)本島清隆(1)



## 幹事報告 別紙をご覧ください

### 理事会報告概要

1. 3月のプログラム 2. 第65期役員・理事・委員会構成 3. 米山奨学生世話クラブ引受けと、カウンセラーについて 4. 上伊那障がい者スポーツ大会への協賛について 5. 2024-25年度地区補助金事業について 6. 観桜会について

### 委員会報告「雑誌紹介」水と衛生月間

#### 3月号「ロータリーの友」唐澤幸利幹事代読

#### 横組み P 5～RI 会長メッセージ

平和を求めらる中で、ロータリーにはロータリー平和フェローがいます。

世界中のリーダーが平和と発展学をぶため、国際基督教大学をはじめ世界の6つの大学で毎年最大130人の平和フェローを輩出しています。彼らは紛争の予防と解決に挑み、積極的な平和を促進するため様々な行動をしています。RI 会長はその事例を紹介されています。

コロンビアの持続的農業の事例、北米での反人種差別活動の事例、国際赤十字で緊急時に指揮管理の枠組みを作成している事例など紹介されています。

平和フェローと彼らを支えるロータリー会員が、今後も奉仕、ファンタレイジング、クリエイティブな思考を通じて世界に希望をもたらせることが出来ますように、とおっしゃっています。P7～特集記事、水と衛生について紹介されています。その中でも「トイレ、その先へ」として世界中のトイレ問題が紹介されています。

我国も災害のたびにトイレの不足が深刻な健康被害を与えるという問題が報道されていますが、発展途上国では日々の生活から衛生環境に問題を抱えています。

P8～11 インドの「トイレの普及の現状と課題」、10頁タイの「継続的な改修で子供の衛生を維持」、11頁カンボジアの「現地と密接な連携でコロナ

過中でもトイレ完工」などロータリーが支援した事例が記載されています。

P15～20「日本のハイブリットトイレ最前線」が紹介されています。これでしたら私的を外さないと思います。

16頁、ステファニー・アーチック会長エレクトのインタビュー記事があります。多様性を重んじる方と印象を受けました。

20頁は尾身茂氏の「感染症との闘い、ポリオ根絶とロータリー」と題して講演要旨が掲載されています。地区大会にもいらっしゃった方の記事なので、読んでみてください。

縦組み P4～資源エネルギー庁廃炉・汚染水・処理水対策官の木野正登(まさと)氏の「福島に職住を定めた私、廃炉と復興への思い」という2530地区RYLAの講演会要旨が掲載されています。当時の混乱した様子、原子力の専門的な話、広報の話、安全管理を広く教育に取り入れる話など、とても興味深いものです。廃炉まで見守るために、福島に定住することを決め、大きなやりがいを得ながら仕事をしている様です。

P9～この人を訪ねては、富岡RCの藤田大(だい)氏の記事です。福島県富岡市は3.11で隣町の大熊町にある福島第一原子力発電所で被災されました。新規事業の立ち上げ直後に災害があり、とても苦労したようです。そんな中炊き出しを行い、地域の復興に向けて行動する様子が書かれています。

### 「観桜会について」

#### 菅 靖世親睦活動副委員長より

4月4日(木)(18:30～割烹いづみ)の観桜会について概要の説明がされた。

会場都合により、アトラクション等は行わず、ビンゴのみの開催とする。

出席報告 会員数57名 内出席免除者18名  
出席者34名 事前メーキャップ0名 出席率72.34%

### ニコニコボックス

- ・小林孝行 久しぶりの出席です。
- ・大石ひとみ 先日のIMでは発表の機会をいただきありがとうございました。
- ・松平 歩 大阪に転勤になりました。短い間でしたが、お世話になりました。

### ラッキー賞

唐木 拓・小松肇彦  
増田 清・山田 益  
平出吉範・本田敏和  
本島清隆



### 次期委員会人事発表

平出吉範会長エレクトより、第65期の役員・理事・委員会構成が発表された。

